

稲毛海浜公園 自然観察会

木の实や葉っぱで遊ぼう！

平田 稚江子（千葉市）

日 時：2020年11月29日（日）10～12時 天候：曇り

場 所：稲毛海浜公園

参加者：21名（大人11名 子ども10名）

担当指導員：盛一昭代 萩 将勝 平田 稚江子 事務局：伊藤道男

新型コロナウイルス感染症が、また増えてきている中での実施となり、予防対策にしっかり取り組みました。

前半は、秋も深まった公園内の植物を観察しながら五感を働かせて自然と触れ合い落ち葉やドングリ、松ぼっくりなどの自然の恵みを参加者の皆さんに集めてもらいました。後半はそれを使ってネイチャークラフトにチャレンジしました。

はじめに、園内にたくさんあるマテバシイのところで、落ちていたドングリを拾いました。葉に触ってもらおうと「厚い！しっかりしているわ」と声が上がりました。アキニレの小さな実が落ちていて、野鳥の好物の種子を観察。ハマヒサカキの花のところで「何か匂いませんか？」と聞くと、子どもたちは「うえ～臭い」ハマヒサカキの花の匂いと言うと皆さんびっくり。ついでに近くにあったヘクソカズラの匂いもかいでももらいました。クロマツ・ソテツ・タイサンボクなどを観察。ハゼノキの紅葉は何とか間に合いました。透き通るような鮮やかな赤やオレンジ色に「きれい」と喜んでいただけました。イロハモミジの紅葉は今一つでした。スダジイのところでは、スダジイはおいしいですよ、と話す「え 食べられるの？」と子どもたちは驚いていました。また、ウバメガシの大きな木のところで、先ほど見た生垣のウバメガシとの違いを実感してもらいました。今回のテーマに沿って園内でよく見られる3つのドングリ（マテバシイ・スダジイ・ウバメガシ）を紹介して観察を終了しました。後半のクラフトでは、拾ってきた落ち葉や木の实、松ぼっくり、ヘクソカズラのつるなどと指導員が用意した材料を使って、葉っぱの水族館・リース・葉などを楽しんで作りました。中でもリース作りは大人気、家族で熱心に作っていました。2歳の子も大きな葉っぱにボンドを付けその上に赤い実やドングリや葉っぱをつけ素敵な作品を作っていました。皆さんがそれぞれ自然と向き合って過ごした2時間でした。



ソテツの説明に聞き入る子



葉っぱの水族館



家族でリース作り